

名古屋大学高等教育研究センター 第70回招聘セミナー

大学教育における 哲学者の役割

徳永 哲也 氏

長野大学 教授

講演概要

大学に哲学者、哲学教育が存在することについて、大抵の人は「必要だね」「大切だね」と言ってくれるものの、その存在意義は揺れている。「大綱化」のあと哲学教育が縮小されたとか、「哲学科」は「人間関係学科」などに衣替えしないと存続できないといった見方は根強い。他方、リベラルアーツが見直され、哲学の復権かという動きもある。今般、提題者を引き受けるに当たって、3つの課題を考えている。第1に、今の時代に哲学や倫理学をどう関心を持てるように教えるか。第2に、各大学の専門教育との関係で哲学的思考にどう目を向けさせるか。第3に、哲学（哲学者）が諸学問や教育総体の統合的な役割を果たせるか。これらに少しでも手がかりを与える提起ができればと考えている。

日時：2008年5月30日（金）16時30分～18時30分

場所：名古屋大学東山キャンパス 文系総合館7階オープンホール

プログラム：16時30分～17時00分

ミニセミナー「アメリカ哲学会の教育への取り組み」

久保田祐歌氏（高等教育研究センター研究員）

17時00分～18時30分

招聘セミナー「大学教育における哲学者の役割」

徳永哲也氏（長野大学環境ツーリズム学部教授）

お問い合わせ：中井俊樹（内線5385）、info@cshe.nagoya-u.ac.jp